

“小さい時に身に付けたことは一生忘れない”
“小さい時に身にしみたことは一生役に立つ”

校長 山田吉夫

令和3年度も残すところ、あとわずかとなりました。40人の伊津部っ子たちが、まもなく卒業式を迎えます。先日行われた卒業式予行の中で、一人一人に証書を手渡した時、“小学校6年間で悔いなく過ごせただろうか。”また、“これからの中学校生活に希望をもてただろうか。”ということ改めて考えさせられました。

体育館の入り口近くにある石碑を見られた方も多いと思いますが、そこには、“小さい時に身に付けたことは一生忘れない。”“小さい時に身にしみたことは一生役に立つ”という言葉が刻まれています。“小さい時”というのが、いつからいつまでを指しているのか定かではありませんが、小学校教育の重要性を端的に表している言葉のように感じます。「若さる時ぬ難儀や買うていもしり」という奄美に伝わる言葉にも通じているように思います。

コロナ禍にあったこの2年間は、様々な行事が中止となり、本来経験できるはずだったことが十分できなかつたかもしれません。しかし、このような状況もマイナス面だけではないように思います。このような状況の中で、どうやって自分の健康や命を守ればいいのか、どのように他者と生活して行けばいいのか、この問題を社会はどう解決していくのか、子供たちが新たに学習したことも多かつたと思います。このような経験はしなくても良かつたのか、それとも、いつか役立つ苦勞の一つなのかは、現時点で判断することは難しいでしょう。

小さい時の経験が、これからの生き方に少なからず影響を及ぼすことは、間違いないでしょう。10年後、20年後、もっと先の自分のために、今を大切にしながら、“自分の力を伸ばす努力”は惜しまずに続けていってほしいと思います。これからも、子供たちに豊かな経験をさせるとともに、全力で取り組む“やるならやるで しゃんとやれ”の精神を育てていきたいと思っています。



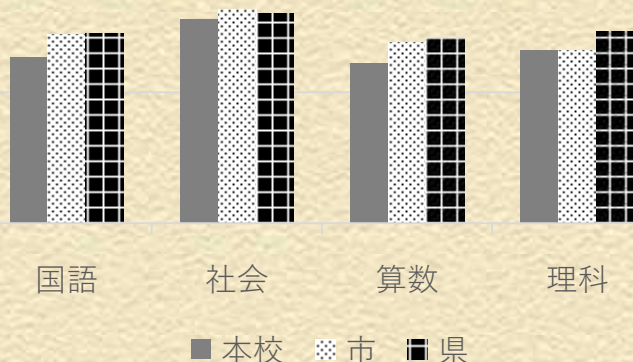
R3鹿児島学習定着度調査結果について

1月に5年生を対象とした鹿児島学習定着度調査が行われました。結果として、特に国語と算数において大きな課題が見られました。

国語の課題は、「基礎・基本」の定着です。各学年で学ぶ漢字等を、学んだ学年段階において確実に定着しておく必要があります。

算数については、「基礎・基本」及び「思考・表現」の両方において課題があります。学校では今後、授業や家庭学習の課題にさらに工夫を凝らし、着けるべき力を着けていきたいと思っています。

なりたい自分になるために、学力はとても重要です。学校でも改善を図るべく、様々な方策を考え、学力向上に向けて全力で取り組んで参りますので、御家庭での家庭学習の見届け、励ましにおいて、更なる御理解・御協力をよろしくお願い致します。



4年半成人式・5年歳の祝い

保護者の皆様の御協力により、コロナ禍ではありましたが、無事に実施することができ、とても有意義な時間となりました。ありがとうございました。



さざなみ・しおかぜ学級 閉級式

3月2日に閉級式を行いました。

学級に所属する児童一人一人が一年間の学びなどを堂々と発表することができました。



お別れ遠足



4日(金)全校で長浜みなと公園に遠足にでかけました。天候の関係で、短縮となりましたが、楽しい思い出ができたようです。



野元初美先生、文部科学省表彰！

本校5年生担任の野元初美先生が、この度優秀教員として文部科学省から表彰されました。



新1年入学説明会

2月9日に令和4年度入学予定の入学説明会を実施しました。今年度も、感染症拡大対策として、体験入学は実施せず、保護者のみにお集まりいただき開催しました。

現在、33名が入学予定です。

